

川崎病院 令和5年度の主な取組内容

1 「救命救急医療の強化」について

三次救急を担う救命救急センターとして、「断らない救急」を継続します。三次救急応需率は令和元年度実績 97.4%、令和2年度実績 94.8%、令和3年度実績 86.0%で、令和4年度は目標値 95.0%、年間想定値 87.7%です。救命救急センター病棟の一部をコロナ専用病床にしたことなどが、三次救急患者の受け入れに影響しました。救急搬送患者総数は、平成26年度 7,332人で、その後減少が続き令和元年度 5,819人、令和2年度 5,802人でしたが、令和3年度 5,834人、令和4年度年間想定値 7,024人です。令和5年度目標値は 6,600人で、救急の専門性を持つ医師だけでなく、すべての医師が救急医療に対応するなど、引き続き断らない救急を継続していきます。また、令和5年度は、救命救急センター棟の新築工事に着手します（令和7年度運用開始予定）。

・・・【取組進捗状況管理シート 2ページに記載】

2 「がん診療機能の強化・拡充」について

地域がん診療連携拠点病院（令和4年4月指定）として、手術治療の質と量を充実させていきます。悪性腫瘍手術総件数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり令和3年度 683件、令和4年度年間想定値 632件ですが、令和5年度は目標値 700件の達成に向けて、地域の医療機関との連携をこれまで以上に強化していきます。ロボットによる手術支援については、令和4年度に新たに4月に直腸、5月に胃、2月に膀胱の施設基準を取得するなど充実を図り、令和4年度のロボット手術件数年間想定値は 75件で、令和5年度は 90件を目標値としています。また、がん患者が手術以外の方法で、低侵襲で病状に応じた適切な治療を受けられるよう、放射線治療・化学療法も強化しており、特に化学療法は令和3年度実績 8,786件、令和4年度年間想定値 9,453件で、5室ある無菌室の稼働率は 100%を超えている状況で、令和5年度も引き続き適切な治療を提供していきます。

・・・【取組進捗状況管理シート 3～4ページに記載】

3 「働き方・仕事の進め方改革の推進」について

医師の働き方改革について、医師数約 200名のうち時間外労働時間が月 80時間を超える医師数は令和3年度実績で 67名、令和4年度年間想定値で 58名です。産婦人科をはじめとする診療科の宿日直許可を申請し、時短計画を作成、令和5年度に特例水準の指定を受けていきます。

・・・【取組進捗状況管理シート 9ページに記載】

4 「収入確保に向けた取組の推進」について

令和4年度は、4月に急性期充実体制加算を取得したのをはじめ他に 37の加算を新たに取得しました。加算を維持するとともに新たな加算の取得に努めていきます。また、在院日数を考慮したクリニカルパスの作成・修正や、他病院とのベンチマークを活用した医師、看護師に事務職を含めたカンファレンスの実施により、DPC入院機関Ⅰ・Ⅱ期の退院割合の向上を進めています。令和3年度実績 63.8%、令和4年度年間想定値 65.8%で、計画では令和5年度年間想定値は 64.0%ですが 66.0%をめざしていきます。令和5年度も引き続き、在院日数の短縮とともに新規入院患者の獲得を進めるなど診療報酬の適切な確保を図っていきます。

・・・【取組進捗状況管理シート 12ページに記載】

施策1 医療機能の充実・強化

川崎病院

取組項目	取組目標名	R3年度実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化						
①救命救急医療の強化	救急車搬送患者総数	5,834人	6,400人	7,024人	6,600人	①ソフト・ハード両面での救命救急患者受入れ能力の強化 ②かわさきコロナリーホットライン、かわさき腹急ホットラインの利用促進 ③脳卒中患者受入体制の維持・強化
	三次救急搬送患者数	991人	1,140人	1,093人	1,160人	
	かわさきコロナリーホットライン応需件数	27件	100件	50件	100件	
	かわさき腹急ホットライン応需件数	193件	180件	121件	180件	
	救命救急センターへの救急救命士配置数	0名	6名	0名	6名	
	救命救急センターへの専任薬剤師(1名)の配置	配置	配置	配置	配置	
	救命救急センター棟の整備	設計	設計・施工	土壌対策 工事着手準備	施工	
②災害医療機能の維持	災害対策マニュアルの改定	実施	実施	実施	実施	①災害対策マニュアルの改定による病院危機管理体制の充実 ②災害医療企画室による災害時医療体制強化の検討 ③DMAT活動の充実 ④各種訓練実施・参加(ブライント型訓練含む) ⑤災害備蓄の充実 ⑥災害時におけるライフライン(電気・ガス・水道)の確保及び強化
	院内災害医療訓練の実施回数	0回	2回	3回	2回	
	市災害医療訓練への参加	参加	参加	参加	参加	
	DMATの派遣【参考:活動回数】	実施【0回】	実施	実施【3回】	実施	
	川崎DMATの派遣【参考:活動回数】	実施【0回】	実施	実施【1回】	実施	
	3日以上以上の備蓄品(食料、飲料水、医薬品)の確保と適切な補充・交換	実施	実施	実施	実施	
	エネルギー棟の整備(エネルギー関連設備の更新と地上階への整備)	施工	施工	施工	運用開始	
	給水ポンプ棟の整備(給水ポンプ室・医療ガス機械室棟の地上階への移設)	施工	施工	完成	運用開始	
③プレホスピタル活動の充実	救急ワークステーションの設置	設計	設計・着工	消防局と調整	建築工事	①救急ワークステーションの設置に向けた準備(川崎病院における市内救急医療派遣事業「Kawasaki ONE PIECE」の発展的解消) ②救急隊からの要請に基づく医療チームの現場派遣 ③救急隊員(救急救命士)の研修支援
	医療チームの現場派遣件数	2件	2件	4件	2件	
	救急救命士及び学生の再教育及び就業前の研修延べ人数	178名	172名	467名	172名	

施策1 医療機能の充実・強化

取組項目	取組目標名	R3年度実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充						
①高度手術医療の推進	悪性腫瘍手術総件数	683件	700件	632件	700件	①5大がん（胃、大腸、肝、乳、肺）の手術治療の強化 ②脳神経外科、婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科等が扱うがんの手術治療の推進 ③鏡視下手術、内視鏡手術の推進 ④ロボット手術センターの運営
	鏡視下、内視鏡下で施行した悪性腫瘍手術件数	440件	350件	472件	360件	
	手術支援ロボットで施行した悪性腫瘍手術件数	65件	85件	75件	90件	
	悪性腫瘍に関わる地域連携クリティカルパス整備件数	1件	6件	2件	6件	
②放射線治療・化学療法等の推進	がん集学的治療センターの運営	運用	運用	運用	運用	①がん集学的治療センターの運営 ②放射線治療の推進 ③薬物療法のための外来治療センターの拡充 ④白血病など血液悪性腫瘍への適切な対応
	外来治療センターの拡充 (参考：設置ベッド数)	拡充 (16床)	設計準備	設計準備	設計	
	血液悪性腫瘍に対応した無菌室5室の運用	実施	実施	実施	実施	
③緩和ケア医療の充実	緩和ケア診療加算算定件数	1,198件	1,500件	1,368件	1,500件	①緩和ケアチーム活動の充実 ②地域連携の強化を通じた緩和ケアの普及
	緩和的放射線治療件数	64件	140件	62件	140件	
	緩和ケアチーム回診回数	週5回	週6回	週6回	週6回	
	緩和ケアチーム回診延べ患者数	1,540人	1,800人	1,694人	1,800人	
	緩和ケアに関する教育・研修会の開催回数	1回	2回	2回	2回	
④がん相談体制等の充実	がん相談員基礎研修(1)(2)の受講人数	2名	2名	2名	2名	①がん相談支援センターの運営 ②がん相談専門員の育成 ③就労支援相談体制の確立
	がん相談員基礎研修(3)の修了者数	1名	1名	1名	1名	
	がん相談件数	148件	320件	402件	320件	
	がんサロン開催回数	7回	7回	7回	7回	
	就労支援相談体制の充実	実施	実施	実施	実施	

施策1 医療機能の充実・強化

取組項目	取組目標名	R3年度実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
⑤がん検診の推進	肺がん検診実施件数	1,053件	800件	870件	800件	①がん検診体制の維持・強化 ②がん検診実施の周知・啓発
	大腸がん検診実施件数	961件	700件	816件	700件	
	胃がん検診実施件数	664件	600件	684件	600件	
	子宮がん検診実施件数	357件	300件	388件	300件	
	乳がん検診実施件数	446件	300件	396件	300件	
	前立腺がん検診実施件数	182件	150件	128件	150件	
	がん検診に関連した市民啓発企画実施回数	0回	1回	1回	1回	

取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実

①感染症医療の確保(第二種・新興感染症)	二類感染症入院患者等の受入れ	実施	実施	実施	実施	①感染症を専門とする医師や認定看護師の安定的な確保 ②第二種感染症指定医療機関の運営 ③新型コロナウイルス感染症への対応 ④新興感染症への対応準備
	感染症遺伝子検査の実施	実施	実施	実施	実施	
	感染症対応訓練の実施	実施	実施	実施	実施	
	新興感染症に備えた医療材料備蓄や医療機器の確保の取組	実施	実施	実施	実施	
②小児・周産期医療の充実	極低出生体重児(1000g未満児)の入院受入れ(参考:極低出生体重児受入人数)	実施(1人)	実施	実施	実施	①地域周産期母子医療センターの安定的な運営 ②新生児特定集中治療室(NICU)及び新生児回復治療室(GCU)の安定的な運営 ③川崎市小児科病院群輪番病院への参加 ④小児科病棟における病室構成の見直し ⑤無痛分娩の開始
	周産期救急取扱患者数	90人	90人	102人	90人	
	川崎市小児科病院群輪番病院への参加	参加	参加	参加	参加	
	新生児集中治療室(NICU)の運用(参考:病床稼働率)	実施(89.0%)	実施	実施(85.5%)	実施	
	新生児治療回復室(GCU)の運用(参考:病床稼働率)	実施(54.5%)	実施	実施(44.7%)	実施	

施策1 医療機能の充実・強化

取組項目	取組目標名	R3年度実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
③精神科医療の充実	院内他科からの依頼件数	521件	350件	428件	350件	①精神科救急医療の対応強化 ②精神疾患を有する身体合併症患者の診療支援(病病連携、院内他科連携) ③修正型電気痙攣療法(m-ECT)の実施
	精神科救急夜間受入当番日の拡大	検討(週1回)	準備	週1回	拡大準備	
	修正型電気痙攣療法(m-ECT)の実施件数	296件	280件	470件	280件	
	精神科病院・診療所からの紹介件数	76件	80件	68件	80件	
	精神保健指定医の人数	3名	3名以上	3名	3名以上	
④特殊治療の推進	画像下治療(IVR)手術実施件数	579件	560件	582件	560件	①画像下治療(インターベンショナル・ラジオロジー(IVR))の実施 ②心臓カテーテルアブレーション治療の実施 ③脳神経内科と連携したパーキンソン病の診断と脳深部電気刺激療法(ディープ・ブレイン・スティミュレーション(DBS))の実施 ④強度変調回転放射線治療(VMAT)の実施 ⑤呼吸同期放射線治療の実施
	心臓カテーテルアブレーション治療実施件数	43件	40件	40件	40件	
	脳深部電気刺激療法(DBS)実施件数	15件	7件	14件	7件	
	強度変調回転放射線治療(VMAT)実施件数	43件	30件	82件	50件	
	呼吸同期放射線治療実施件数	0件	30件	2件	40件	
⑤認知症疾患医療センターの運営	もの忘れ相談件数	90件	100件	2,236件	100件	①もの忘れ外来、もの忘れ相談室の適切な運営 ②地域医療機関との連携強化(広報・会議・研修)
	もの忘れ外来患者数	75人	80人	196人	80人	
	認知症に関する地域医療従事者向け研修の実施回数	1回	1回	1回	1回	
⑥内視鏡診療の充実	内視鏡検査実施件数	6,870件	7,000件	6,820件	7,250件	①内視鏡治療センターの安定的な運用による質の高い高度な内視鏡診断・治療の提供 ②365日緊急内視鏡検査に対応できる体制の維持
	緊急内視鏡検査実施件数	293件	260件	240件	270件	
	内視鏡治療実施件数	1,093件	1,100件	1,181件	1,150件	
	内視鏡治療センターの拡張	設計	設計	設計	施工準備	

施策1 医療機能の充実・強化

取組項目	取組目標名	R3年度実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
⑦診療支援部門の専門職による取組の推進	薬剤師配置病棟数	3病棟	5病棟	5病棟	11病棟	①病棟における薬物療法の質の向上と医療安全確保（病棟への薬剤師配置） ②リハビリテーション実施体制の強化 ③放射線診断機器、放射線治療機器の的確な運用 ④検査業務の的確な運用 ⑤病状・病態に応じた的確な栄養指導の実施 ⑥医療機器の運用及び保守点検
	薬剤管理指導料算定件数	9,608件	13,000件	11,000件	19,000件	
	リハビリテーション実施単位数	105,917単位	144,000単位	144,000単位	167,000単位	
	PET-CT利用件数	1,029件	1,100件	1,100件	1,100件	
	夜間・休日における緊急画像診断検査の実施	実施	実施	実施	実施	
	臨床検査精度管理の実施	実施	実施	実施	実施	
	専門外来を含めた疾患別栄養指導料の算定件数	2,352件	2,500件	2,134件	2,500件	
	臨床工学技士の医療機器の定期保守点検の実施	実施	実施	実施	実施	
⑧チーム医療の推進	NSTラウンドの実施人数	865人	700人	700人	700人	①NST・摂食嚥下支援チーム医療の分離による専門性の高い医療の提供 ②褥瘡対策チーム医療の推進 ③呼吸サポートチーム医療の推進 ④排尿ケアチーム医療の推進 ⑤非がん患者緩和ケアの推進 ⑥早期離床チームの取組推進 ⑦倫理コンサルテーションチームの活用
	摂食嚥下支援チームラウンドの実施延べ人数	924人	1,000人	840人	1,000人	
	褥瘡発生率	0.65%	1.0%以下	0.85%	1.0%以下	
	呼吸サポートチームラウンドの実施依頼件数に対する応需率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	排尿ケアチームラウンドの実施依頼件数に対する応需率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	非がん患者緩和ケアチームラウンドの実施依頼件数に対する応需率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	早期離床チームの実施病棟数	7病棟	7病棟	12病棟	8病棟	
	倫理コンサルテーションの実施	実施	実施	実施	実施	
⑨チーム医療の推進	専門看護師・認定看護師の人数	33名	34名	41名	35名	①専門看護師、認定看護師及び特定行為研修修了者による看護の質の向上 ②専門看護師、認定看護師及び特定行為研修修了者の計画的な育成、支援 ③特定行為研修修了者による取組の推進
	専門看護師・認定看護師の分野数	18分野	16分野	18分野	16分野	
	特定行為研修を修了した看護師の人数	3名	4名	6名	5名	

施策1 医療機能の充実・強化

取組項目	取組目標名	R3年度 実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度 年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
取組項目(4) 医療安全の確保・拡充						
①医療安全対策の推進	医療安全に関わる院内委員会の開催回数	12回	12回	12回	12回	①医療安全対策加算1に係る施設基準の維持（職員研修の実施、医療安全管理者の確保、各部門への支援と記録作成等） ②医療安全対策地域連携加算1に係る施設基準の維持（専任職員確保、年1回の相互ラウンド等） ③基礎的な医療安全対策の充実（院内委員会の開催等） ④医療安全に関する患者・家族からの相談への適切な対応
	インシデントレポートの提出（参考：報告件数）	実施 (4,489件)	実施	実施 (4,696件)	実施	
	患者・家族からの医療安全関連の相談対応（参考：相談件数）	実施 (237件)	実施	実施 (284件)	実施	
	医療安全研修会の実施（参考：実施回数）	実施 (10回)	実施	実施 (12回)	実施	
②院内感染対策の推進	感染制御チーム（ICT）ラウンド回数	50回	50回	50回	50回	①感染制御チーム（ICT）による活動の推進 ②感染症対策に資する病室（個室）の整備検討
	感染管理研修会の実施（参考：実施回数）	実施 (11回)	実施	実施 (10回)	実施	

施策2 地域完結型医療の推進

取組項目	取組目標名	R3年度 実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度 年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
取組項目 医療機能の分化・連携と地域包括ケアシステムの推進						
①地域医療連携の推進	地域連携クリニックバ ス適用件数	29件	75件	14件	75件	①外来患者の紹介・逆紹介の推進、医療提供体制 に適した外来患者数の確保 ②二次、三次救急の強化のための体制整備 ③南部小児急病センターを含めた小児科初期救急 のあり方検討会の設置 ④連携登録医療機関制度の推進 ⑤地域医療連携の会の開催 ⑥他院からの緊急受診応需率向上の取組の推進
	他院からの緊急受診応 需率	75.7%	84.6%	84.0%	87.1%	
	地域医療連携の会の開 催(参考:参加人数)	実施 (166人)	実施 (200人)	実施 (117人)	実施 (200人)	
	紹介患者数	11,420人	12,000人	11,302人	12,000人	
	通院不要的退院率	45.6%	45.0%以上	43.0%	45.0%以上	
②地域包括ケ アシステムの 推進	地域ケア懇談会、出前 講座開催回数	11回	11回	12回	11回	①地域の他医療施設からの急性期患者の受入れ ②研修会開催、出前講座の実施 ③看護師、薬剤師、管理栄養士による入院前外来 の強化 ④入退院支援係、医療福祉相談係との連携
	勉強会・症例検討会等 への地域の医療・介護 従事者等参加延べ人数	500人	500人	384人	500人	
	入退院支援加算算定件 数	6,696件	6,800件	6,640件	6,800件	
	入院時支援加算算定件 数	2,300件	2,300件	2,898件	2,300件	

施策3 効果的・効率的な運営体制づくり

取組項目	取組目標名	R3年度実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
取組項目(1) 人材の確保・育成の推進						
①医療従事者の安定的な確保	医学生向け病院見学会の開催(参考:開催回数)	実施(18回)	実施	実施(15回)	実施	①高度急性期病院としての医療提供に必要な医師・看護師・医療技術職の確保 ②採用選考の適切な実施による優秀な初期臨床研修医の確保 ③看護職人材確保のための広報活動の充実
	看護学生向け病院見学会の開催回数	7回	10回	8回	10回	
	看護学生実習受入学校数	6校	6校	6校	6校	
	医師、看護師以外の学生受入体制の強化(参考:受入人数)	実施(8人)	実施	実施(10人)	実施	
②職員の専門能力の向上	特定看護師の資格取得支援	実施	実施	実施	実施	①資格取得支援の推進 ②資格専門職への待遇改善 ③事務職員の専門能力向上
	院内研究交流会・看護研究発表会報告演題件数	86件	70件	90件	70件	
	医療事務職による診療報酬関連研修会の実施回数	1回	1回	1回	1回	
	診療情報管理士等資格保持者人数(常勤)	5名	5名	5名	5名	
取組項目(2) 働き方・仕事の進め方改革の推進						
①働きやすい職場づくり	職場に対する総合的な職員満足度(職員満足度調査)	35.1%	40.0%	41.6%	40.0%	①あいさつ励行、各部署におけるプリーフィング励行等による風通しの良い職場風土の醸成 ②時間外勤務時間の確認等による業務分担の見直し ③他職種によるタスクシフトの推進 ④新規採用者や異動者への精神的な配慮
②多様な働き方の推進	医師事務作業補助者人数(常勤換算)	27名	28名	30名	29名	①医師の変形労働制の勤務時間の検討 ②ICTを利用したオンライン会議・オンライン研修の活用 ③看護助手、医師事務作業補助者の活用 ④委員会開催やメンバー選定の定期的な見直しと午後5時以降の会議開催の縮減 ⑤産育休を活用する職員に対する復帰後を見据えた丁寧な説明 ⑥医師時間外労働の縮減
	看護助手人数(常勤換算)	54.3名	56名	60人	57名	
	地域連携システムを活用したオンライン画像確認システムの運用	検討	検討	検討	運用開始	
	時間外勤務時間が80時間を超える医師人数	67名	40名	58人	20名	

施策4 患者に優しい病院づくり

取組項目	取組目標名	R3年度実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
取組項目 患者サービスの向上						
①積極的な情報発信の推進	ホームページ新規コンテンツ作成の推進(参考:新規コンテンツ掲載回数)	実施(12回)	実施	実施(10回)	実施	①ホームページを活用した情報提供 ②広報誌やデジタルサイネージの活用
	広報誌(「くすの木」)発行回数	2回	4回	4回	4回	
	患者総合サポートセンターによる市民公開講座開催回数	4回	4回	6回	4回	
	クリニカル・インテイクーター(臨床指標)の公表	実施	実施	実施	実施	
②診療環境の向上	業務改善委員会の開催回数	10回	12回	12回	12回	①患者満足度調査、報告会の実施 ②患者満足度調査報告を基にした業務改善委員会の実施及び各部門へのフィードバック ③外来待ち時間を長く感じさせないような環境整備の推進
	外来待ち時間調査の実施	実施	実施	実施	実施	
	外来における総合的な満足度(患者満足度調査)	69.3%	81.7%	84.5%	81.7%	
	入院における総合的な満足度(患者満足度調査)	90.4%	89.3%	95.0%	89.3%	
③外国人への対応	外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)の取得	準備	準備	準備	取得	①外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)の取得に向けた、環境整備と維持・運用 ②派遣医療通訳、双方向通訳デバイスの活用による円滑なコミュニケーション環境の維持・運用
	ホームページの外国語対応(英語・中国語)	検討	検討	検討	実施・運用	
	かながわ医療通訳派遣システム利用件数	531件	500件	522件	500件	
	双方向通訳デバイスの活用	実施	実施	実施	実施	
④相談体制の強化	院内投書の実施(参考:お礼を含む投書件数)	実施(154件)	実施	実施(100件)	実施	①院内投書や市長への手紙等への適切な対応 ②アドボカシー相談への適切な対応
	アドボカシー相談の実施(参考:相談件数)	実施(237件)	実施	実施(284件)	実施	

施策5 地域・社会への貢献

取組項目	取組目標名	R3年度実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
取組項目 地域・社会への貢献						
①医療職の育成	他院からの臨床研修医受入れ(参考:受入人数)	実施(6名)	実施	実施(10名)	実施	①医師臨床研修の実施 ②専門医制度専攻医研修の実施 ③地域医療機関医療従事者を対象とした症例検討会・研修会の開催
	当院の基幹型プログラム参加(専攻医(D3)数)	実施(4名)	実施	実施(5名)	実施	
	院外医療従事者を対象とした症例検討会開催回数	3回	1回	3回	2回	
	感染対策出前講座の実施	実施	実施	実施	実施	
	医療従事者向け研修会の開催回数	10回	4回	8回	14回	
②医療系学生の教育支援	実習受入学校数	9校	6校	8校	25校	①大学医学部学生の実習受入れ ②看護職養成学校学生の実習受入れ ③大学薬学部学生の実習受入れ ④中学校・高等学校学生の職場体験受入れ
	大学医学部学生の実習受入れ(参考:受入人数)	実施(14名)	実施	実施(17名)	実施	
	看護学校学生実習受入れ(参考:受入人数)	実施(614名)	実施	実施(426名)	実施	
	薬学部学生実習受入れ(参考:受入人数)	実施(8名)	実施	実施(8名)	実施	
③研究活動と学会発表、論文発表、治験参画	学会発表件数	116件	170件	—	180件	①学会活動への支援 ②治験参画の推進
	論文発表の推進(参考:発表件数)	実施	実施	実施	実施	
	治験協力の実施(参考:治験協力件数)	実施	実施	実施	実施	
	高齢者の暮らし方と健康に関する調査への協力	依頼なし	実施	依頼なし	実施	
④市民に対する医学知識の普及啓発	患者総合サポートセンターが開催する市民公開講座の開催回数(再掲)	4回	4回	6回	4回	①市民公開講座の実施 ②医療従事者向け研修会の実施
⑤環境を意識した病院運営	エネルギーサービスの運用管理	施工	施工	施工	運用開始	①高効率な熱源設備への更新(エネルギー棟の整備) ②効果的、効率的な熱源設備の運用管理
	LED照明の導入割合	検討	100.0%	導入開始(50%)	100.0%	

施策6 強い経営体質への転換

取組項目	取組目標名	R3年度実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進						
①診療報酬の適切な確保	施設基準ワーキング年間開催回数	9回	9回	10回	9回	①時間外・休日夜間緊急手術加算1等の経営的効果の大きい施設基準の取得 ②取得済み加算の要件管理 ③各診療科の稼働状況の分析 ④全国の平均在院日数(Ⅱ期間)の把握と在院日数の短縮 ⑤経営企画・経営分析の検討
	施設基準ワーキングからの提案による加算取得(参考:件数)	実施(14件)	実施	実施(29件)	実施	
	在院日数を考慮したクリニカルパスの作成・修正件数	20件	20件	18件	20件	
	DPC入院期間Ⅰ・Ⅱ期の退院割合	63.8%	63.0%	65.8%	64.0%	
②医療資源の効率的な運営	個室の整備	立ち上げ/検討	検討	検討	検討	①午前退院、午後入院の推進、診療科を超えた柔軟な病床管理 ②個室化の推進 ③手術の予定時間と実施所要時間との差異削減の推進、及び適切な人員配置 ④緊急手術への対応の強化
	日勤時間内の手術室稼働率	51.1%	52.0%	50.9%	53.0%	
	緊急手術件数	801件	940件	964件	960件	
取組項目(2) 経費節減・抑制の強化						
①経費節減・抑制に向けた取組の推進	コンサルタント業者と共同した薬剤費、診療材料費の価格交渉の実施(参考:交渉回数)	実施(10回)	実施	実施(10回)	実施	①コンサルタント業者と共同した薬剤費、診療材料費の価格交渉の推進 ②医療機器保守契約委託料の見直しや削減
	医療機器購入時における保守契約を含めた合併入札の実施率	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	
②適正な医療機器整備の推進	医療機器購入時における病院三役による価格交渉の実施率	24.0%	35.9%	30.4%	35.9%	①必要性、収益性を吟味した購入審査 ②適切な価格交渉、価格低減 ③計画的な高額医療機器の取得、更新
	計画的な高額医療機器の取得、更新	実施	実施	実施	実施	

施策6 強い経営体質への転換

取組項目	取組目標名	R3年度 実績値(参考)	R4年度目標値	R4年度 年間想定値	R5年度目標値	令和5年度の主な取組内容
取組項目(3) 経営管理体制の強化						
①経営管理体制の強化に向けた取組の推進	月次決算状況及び年次決算見込みの把握	実施	実施	実施	実施	①財務・コスト管理の実施 ②医療経営に携わる人材育成 ③職員への適切な情報発信、職員の意識改革 ④自院の担うべき診療体制の検討
	院長メッセージによる運営方針や経営状況の発信回数	4回	4回	4回	4回	
	診療科等ヒアリングの実施回数	2回	2回	2回	2回	
②医療情報・情報機器の一括管理体制の構築	専門部署の設置	設置	設置	設置	設置	①部門の用意及び当該システム担当者の配置 ②各医療情報システムの導入・更新時の評価 ③当該部署による医療情報分析作業の一元化の推進 ④医師事務作業補助者向け医療情報に関する研修及び一次データ作成支援 ⑤診療現場からの改善要望への迅速な対応（操作性・閲覧性改善） ⑥経営判断に資する分析データ資料作成
	診療データ作成の推進	検討	実施	実施	実施	
	医師事務作業補助者向け研修会の実施	検討	実施	実施	実施	
	診療現場からの改善要望に基づく医療情報システム改修の実施	検討	実施	実施	実施	
③医療情報の情報連携及び医療情報セキュリティの強化	地域医療連携システム新規導入医療機関数	1施設	4施設	0施設	5施設	①地域医療連携システムの導入・利用促進 ②医療情報システムを介した大学等との診療連携・研究支援 ③病院職員への情報セキュリティに関する研修の実施 ④医療情報システムがダウンした場合に備えた災害対策の立案、訓練の実施
	医療情報に関する研修会の実施	検討	実施	実施	実施	
	情報セキュリティに関する研修会の実施	検討	実施	実施	実施	
	システムダウンに備えた訓練の実施	検討	実施	実施	実施	